

榎尾中学校区 施設一体型義務教育学校に 関する説明会



令和元年5月



本日の予定

○経過報告

○新設校のイメージ

○今後の予定

○質疑応答

經過報告

【主な取り組み】

平成30年 1月～ 意見交換会(18回開催)

平成30年 7月 保護者対象説明会

平成30年 8月 地域説明会

平成30年11月 保護者・地域説明会②

アンケート調査

平成30年12月 第1回 和泉市適正就学対策審議会 諮問

平成31年 3月 第3回 和泉市適正就学対策審議会 答申

和泉市教育委員会第3回定例会にて議決

【アンケート調査結果】

対象

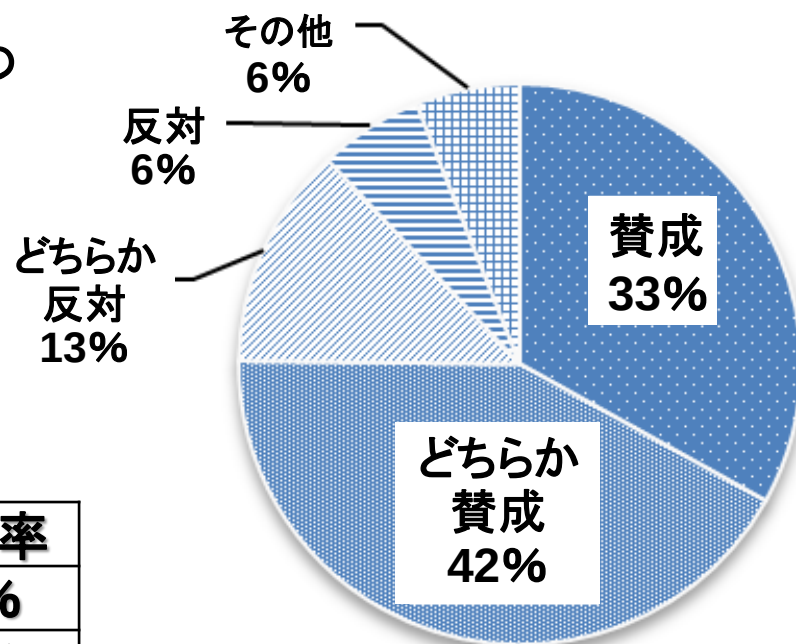
榎尾中学校区の中学生までの子どものいる保護者（特認含む）

アンケートの内容

榎尾中学校の敷地にて、施設一体型の小中一貫校の特認校を新設することについて

- 1 賛成
- 2 どちらかと言えば賛成（現状では仕方がない）
- 3 どちらかと言えば反対（もう少し色々考えたい）
- 4 反対
- 5 その他

	送付数	返送数	回収率
横山校区	244	88	36%
南横山校区	43	26	60%
特認	50	19	38%
不明	—	2	—
合計	337	135	40%



【適正就学対策審議会 答申】

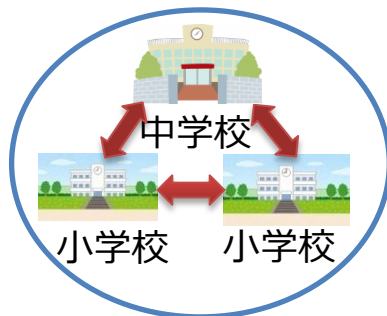
- 横山小学校、南横山小学校、榎尾中学校を統合のうえ、施設一体型義務教育学校（小中一貫校）の特認校を新設する。
- 施設一体型義務教育学校（小中一貫校）の特認校は、現榎尾中学校の敷地を活用するものとする。

新設校のイメージ

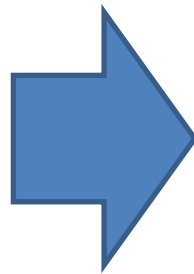
施設一体型とは？

小学校と中学校を、同敷地内の1つの施設内に設置した形態の学校です。

多様な異学年交流や、小中教員による細やかな子どもへの支援等の取組みが充実させやすい教育環境となります。



施設分離型



施設一体型



義務教育学校とは？

平成28年度から施行された新しい校種で、義務教育9年間を通して、より系統的な教育課程を編成し、学校運営を行います。



前期課程				後期課程				
ファーストステージ				セカンドステージ			ファイナルステージ	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
○学級担任を中心とした学習 ○基礎・基本の定着 ○学習習慣の定着				○一部教科担任制からなだらかに教科担任制(後期課程へ移行) ○基礎・基本の徹底と応用力			○専門的な学習の充実 ○確かな進路選択の保障	

南松尾はつが野学園では、内容に応じて、4・3・2制の区切りを採用するなど、柔軟な区切りの設定を行っています。

特認制度とは？

特認制度を導入した学校へは、市内どの地域からでも通うことができます。



和泉市では、自然、少人数指導等を特色として、平成18年度から南横山小学校で導入しています。

他校にはない特色・魅力を検討し、児童生徒を募集します。

令和元年度は、65人の児童が特認制度にて通学しています。

新しい学校になると、どんな教育内容が実践され、どんな効果が期待されるの？

特認制度の導入

- 市内から入学を希望する児童生徒が通い、より多くの「出会い」が生まれます。

少人数指導など、効果的な学習環境

- 1学年2クラスのクラス替えが可能な環境、児童生徒が切磋琢磨できる環境。
- 教科や学習活動に合わせ、少人数でのきめ細かな授業。

異学年交流の充実

- 施設一体型の利点を活かした、多様な異学年交流。

前期課程での専科指導

- 後期課程の教員による前期課程での授業。

前期課程からの部活動参加

- 運動・文化にふれる機会や学校生活の充実。

小中教員による9年間の育み

- 前期、後期の教員による9年間の系統的な学習や細やかな学校生活・生徒指導。



南松尾はつが野学園の様子

- 登校風景
- 異学年交流
- 前期課程での一部教科担任制
- 前期課程からの部活動参加
- 小中教員による9年間の育み

地域特性を活かした教育内容や 児童・生徒が集まる魅力づくり

自然環境を活かした学習

→ 槇尾山や父鬼川、地域の田畑など自然を活かした学習活動。

関西トランスウェイスportsスタジアムなどの 地域資源を活用した教育

→ 南部リージョンセンターや地域の産業とも
連携した多様な教育。

南横山小学校の敷地を活用した学習活動

→ 学校林や父鬼川での教科学習や総合的な
学習、特別活動など。

少人数指導による細やかな指導

→ 教科や学習活動に合わせ、少人数でのきめ細かな授業。

魅力ある部活動

→ 他校にはない部活動による魅力づくり。

放課後学習環境の充実

→ 学習塾などの参画など、多様な放課後の過ごし方が可能に。



開校の時期、場所は？

- 槇尾中学校の敷地を活用し、新校舎建設のうえ、開校予定です。
- 敷地の拡大に関する調整や建設内容の詳細を整理する必要があるため、現時点で開校時期は未定です。
(少なくとも5年程度は必要と考えています。)
- 校舎の建設時には、同一敷地内で中学生が学びながらの計画です。
しっかりと安全対策、騒音対策に努めるとともに、体育館等の先行整備による、先行利用など在校生への配慮に努めます。

※基本構想、基本設計の内容によっては、
一時移転が必要となる可能性もあります。



通学はどうなるの？

- 南横山地域の全域及び横山地域の一部（距離等踏まえ、今後調整）は、何らかの形で無料のバスにて通学が可能となるように調整予定です。
地域の路線バスを含めた総合調整を行う予定ですので、開校に向けて検討を進めていきます。
- 特認バスについては、小学生、中学生が利用可能な運用に努めます。
詳細は、開校に向けて調整していきます。
- 徒歩通学等についても、安全な通学が確保できるよう、道路照明対策など可能な限り対応を検討していきます。

横山小学校、南横山小学校はどうなるの？

【横山小学校について】

- 現在の校舎等は基本除却の方向で検討します。
- 除却後の敷地については、民間活力の検討や地域広場、宅地等、民間活用の可能性調査を行ったうえで整理予定です。
- 避難所は、新校での機能確保を基本とします。



横山小学校、南横山小学校はどうなるの？

【南横山小学校について】

- 南横山小学校の敷地を自然環境教育の場として活用できるように調整します。
- 地域コミュニティの活性化に配慮し、地域利用が可能な手法を検討します。
- 民間活力の検討も行い、可能性調査などを実施します。



今後の予定

- ①（仮称）学校開校準備委員会を通じて、学校名（案）を検討。
- ② 学校名、新設校設置について議会の議決を求めます。
これにより、正式決定となる予定です。
- ③ 準備委員会にて、開校までに決定すべき内容について順次、検討を進めます。

→ 準備委員会での協議の様子や進捗状況等は、市HPやニュースレターを通じてお知らせしていきます。

登録をお願いします！ ⇒



「（仮称）学校開校準備委員会」イメージ

【構 成】

学校教職員、在校生・就学前児童の保護者、
町会など地域関係者、教育委員会事務局など



【検討事項】

学校名、制服、校章、学校設備、教育内容、校歌、
PTA関係、特認内容など

※検討する内容に応じて、保護者、地域の方々に参画
していただきます。

※教育内容については、準備委員会での検討と並行して、
3校間で先行実施するなど開校に向けて小中一貫教育の
更なる充実を図ります。

今後のスケジュールイメージ（案）※ 現在検討中です。

令和元年度

- 教育内容等の整理にあたっての意見交換
- 情報発信していくべき内容についての意見交換
- 学校名の検討 → 議会での議決
- 3校交流事業の検討 → 令和2年度実施事業の整理
令和3年度以降実施事業の整理
- 校舎建設に向けた基本事項の整理

今後のスケジュールイメージ（案）※ 現在検討中です。

令和2年度から学校開校まで

★前年からの意見交換をより深めていく作業を実施

- 教育内容等の整理にあたっての意見交換（継続）
 - 放課後活動の内容
 - 南横山小学校の教育的利用
 - 特認の定員数について
 - 3校交流事業の推進 等
- 校舎建設に向けた具体案の確認 → 開校時期の整理
- スクールバス等通学対策の意見交換
- 制服、校歌、校章、PTA組織等の検討 etc

学校開校準備委員会での検討をスタートするにあたり、

現在、これまでの適正就学対策審議会や意見交換会における意見のとりまとめを行っているところです。

その内容を確認しつつ、検討・協議を進めていきます。

※なお、これまでの意見交換会等の内容は、和泉市ホームページに掲載しています。



和泉市適正就学対策審議会、意見交換会での意見

⇒ 学校開校準備委員会にて引き継がれ、検討

①施設一体型の特徴を活かした教育内容について

→ いじめに特化した教員、もしくは教員OB等の配置を要望したい。

②地域特性を活かした教育内容について

→ 情操教育を視点に、低学年においては、南横山小学校で学ぶ機会を計画的、持続的に十分確保して欲しい。

③特認制度の導入に関して

→ 1学級20人の学級編制など、可能な限り少人数にして欲しい。
→ 応募する多くの児童・生徒を受け入れて欲しい。

④校舎等に関して

→ 市内にない、習い事や英会話、クラブ活動が対応できる施設を検討して欲しい。

⑤通学等に関して

→帰宅や部活動の時間帯を考慮したバス、
留守家庭児童会を考慮したバスをお願いしたい。

⑥学校名、制服、開校準備等に関して

→地域、特認の不安が払拭されるよう、情報提供をお願いする。

⑦横山小学校のあと地利用に関して

→南部地域に注目が集まるようにし、あと地利用を含めて
地域が活性化するようにつなげて欲しい。

⑧南横山小学校のあと地利用に関して

→教育施設としての活用し、市内の他の学校園など市内全体で
利用できる形が望ましい。

現時点では、不確定の状況が多々ありますが、
これからは、開校に向けたより具体的内容検討
がスタートすることになります。

学校開校準備委員会の様子については、
随時発信していきますので、
今後とも連携・ご協力をよろしくお願いします。

※ 是非、メール登録をお願いします。